

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	島根県	市町村名	出雲市	主催名	出雲市教育委員会 出雲市教育研究会日本語指導部会
派遣日	令和 3年 8月 26日 (木曜日) 10:00~11:30 市内公立小学校と情報交換会 14:30~16:30 第2回日本語指導教職員研修会				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 派遣 / <u>遠隔</u>				
派遣場所	Web (Teams) 開催に変更 午前中: 市内公立小学校と Web 開催 午後: 出雲科学館、市内小中学校9校と Web 開催				
アドバイザー氏名	豊橋市教育委員会 外国人児童生徒相談員 築樋 博子 氏				
相談者	出雲市教育委員会学校教育課 出雲市立小学校日本語指導部 出雲市教育研究会日本語指導部				
相談内容	本市の2つの研修会講師として、次の内容で研修を行った。 1 中期指導に適した教材や具体的な指導 2 日本語指導と教科学習 3 学校での国際理解教育 4 母語支援 5 高学年~中学生の中期指導 (日本語ステージレベル3)				
派遣者からの指導助言内容	1 中期指導の技能別日本語の具体的な教材と指導法 (読む)・短文の資料やドリルなどを授業の帯として活用 (書く)・1年「いろいろなふね」読みの指導から ・2年「同じところ ちがうところ」の活用 2 日本語と教科の学習 ・問題の文章+内容=2重の苦しさ ⇒ どちらかをやさしく変更する。 ・児童が自分で問題が解けたという「できた感」を得られる支援 ・スモールステップで積み重ねる。 3 理解教育: 外国にルーツのある友達を理解するために ・子どものルーツを大切にする・保護者と一緒に活動する。 4 母語支援: 来日後・来日する前の母国にいるときの思い ・時間を確保して受け止める。 ・来日して初期指導の段階での母語による心理的ケアの重要性 5 技能別日本語+教科と日本語の統合学習 『これからの外国人児童生徒等教育~こどもたちの明るい未来のために~』 ○「技能別日本語」 ・見出しで推測して読む。・言葉と動作をセットで学ぶ。 ・読解シートの活用と作成のポイント。				

	<p>○「教科の目標」と「日本語の目標」・・・2つのめあて</p> <p>○学び方を日本語教室で学んでから在籍学級へつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none">・母語での活動も認める。→学習の広がり・ICTの活用。・予習⇒在籍学級の授業に参加・思考ツールやレポートの活用。 <p>【ライフコース】</p> <p>○生徒の将来にわたって日本語を学び続ける意欲や姿勢</p>
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<p>参加教員は、児童生徒の様子を思い浮かべながら、2学期からの日本語指導の授業改善について学んだ大変有意義な研修会だった。日本語指導担当者にとって、今後の指導計画や教材を創意工夫ができそうだという見通しと意欲、日本語指導技術の向上を図ることにつながった。</p> <p><参加者から今後の授業に生かしたいこと></p> <ul style="list-style-type: none">・取り出し指導を行う中で、教師と児童生徒が1対1で学習する場面と児童生徒同士が学び合う場面も設定し、お互いの気づきを取り上げながら学習を深めていきたい。・レベル別の読解シートを児童生徒の日本語力に合わせて作成して、活用したい。・日本での学習や経験だけでなく、母国で学習したことや経験したこと、それにより育んだものを活かせる学習活動を目指したい。一人ひとりの良さを見つけ、よさや得意なことを伸ばしていきたい。・在籍学級で学習することも多い児童生徒のために、視覚支援、表現支援、話型の提示などを取り入れていきたい。・校内での日本語指導でのタブレットの効果的な活用を今後検討していく。・母語ではない言葉で教科の言葉を学び、勉強することは児童生徒にとって、とても大変なことだと再認識した。事前の教材準備に時間をかけて行いたい。・教科学習の内容を思考ツールにまとめる活動を取り入れていきたい。 <p>(ライフコースに関して)</p> <ul style="list-style-type: none">・進路説明や支援がとても大切であり、早い時期から個別に丁寧にする必要があると思った。子どもの日本語レベル、家庭の状況をみながら分かりやすく説明していく重要性を感じた。・児童生徒の将来のことを考えて、生きていくための力や知識を身に付けられるように、指導者が広い視野をもちたい。 <p><市教委としての今後の取組の方針></p> <p>○外国にルーツのある児童生徒や保護者への支援を校内のスクールカウンセラー等での対応や専門機関と連携しながら、今後検討をしていきたい。</p> <p>○進路支援として、進路選択に必要な基本的な情報を提供する場として、本市も今年度は、初の拠点小学校でのロールモデル講演会と高校説明会を行う。実践事例のように、ロールモデル講演会を組み込んで高校説明会を開催するなど、今後の進路説明会の開催方法について、さらに検討をしていきたい。</p>